



横浜市立谷本中学校 学校だより

や も と

1947年開校 創立78年

「10月号」 令和7年10月27日発行

「収穫、そして未来へ」

校長 羽山 悟

秋雨が続く、秋晴れを心待ちにする日々の中、枯葉舞い散る季節となりました。合唱コンクールの練習も、各クラスが課題を乗り越えながら、素晴らしい歌声を創り上げ、完成へとつながっていきました。谷本中学校の合唱コンクールが再スタートし、今年で3年目。3年間で積み重ねた経験や思いが谷本中学校の伝統へと紡がれていると思います。今年のスローガンは、「音 the top」。練習を通して、目指すことや、達成することができたでしょうか。

今年は、10月中旬まで夏日が続いたので、秋の季節感が駆け足で通り過ぎていくようで、秋への名残惜しさや寂しさすら感じます。そんな中、皆様はどんな秋を感じましたか。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋等もあります。秋が旬である代表的な魚、秋刀魚(さんま)は、豊漁というニュースで賑わせています。先日、1年生が収穫したお米は、精米してみると400kgを超えました。実りの秋の収穫を身近に感じられることができました。

先日、初めての試みで、前期後期の境目に、分期式を行いました。たくさんの表彰や生徒会の認証式等で盛り沢山の内容でした。まさに、今年度の「振り返り地点」です。前期の反省や意気込みを自分で確認し継続しながら、後半に向けてもう一度顧みることも大切かと思っています。

明るいニュースとしては、京都大学の北川進氏が金属有機構造体の開発によりノーベル化学賞を受賞されました。要約すると、個体の中で気体が自由に出入りする仕組みの発見です。また、大阪大学の坂口志文氏は、制御性T細胞の発見によりノーベル生理学・医学賞を受賞されました。これは、同じような免疫細胞の中からアクセラ的な働きをするものを発見したという業績です。過去の偉人たちの英知を吸収しながら、30年、40年の研究、実験を経て功績が認められ、その努力と経緯の素晴らしさに私たちも感動を与えていただきました。まさに、継続は力なりですね。今後の人々の生活に豊かさや幸せをもたらしてくれるものと信じています。



さて、コロナ感染症の対応の変化から平常の学校生活が再開し、3年目となりました。新たな伝統とともにスタートし、全校で日々努力して取り組んでいます。

保護者、地域の皆さまには、今後とも谷本中学校の生徒へ温かい見守りと声援を送っていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。



【1年生郷土理解学習】

郷土理解学習として1年生は5月に田植えを行い、その稲が立派に育ち、9月29日に、稲刈りを行いました。

稲穂が黄金色に輝く中、鎌で刈り取り、コンバインの中に入れるという、多くの人にとっておそらく初めての経験でしたが、みんなよくがんばっていました。農家の方には、お忙しい中、田植えと稲刈りの指導とその間の手入れをしていただきました。ありがとうございました。



刈り取った稲は先生たちが脱穀し、小

分けの袋に入れて配布しました。自分たちで植えて刈り取ったお米の味は、きっとおいしかったことでしょう。



【生徒会役員選挙】

10月6日に、生徒会役員選挙の立会演説会と投票が行われました。もともとは、演説会は体育館で行う予定でしたが、感染症対策のため会場を変更し、教室でテレビ放送で行いました。また、演説会と投票の時間も午後から午前中に変更しました。急な変更でしたが、どの学年も演説会から投票までスムーズに進めることができました。また、立候補者・応援演説者・選挙管理委員の私たちは、準備も大変でしたが、しっかりと行いました。

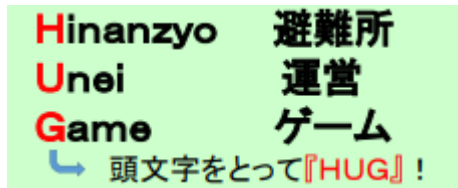
立候補者は、会長候補（2年1名）、副会長候補（2年1名、1年1名）、書記候補（2年1名、1年1名）、会計（2年1名、1年1名）の計7名。9月17日から30日まで、朝のあいさつ運動やクラス訪問、政見放送などで、選挙運動をがんばりました。

そして、10月10日に生徒会引継ぎ式を行い、旧本部役員から新本部役員にバトンが渡されました。これからも全校で協力して、生徒会活動を進めていきたいと思います。



記載台・投票箱は、青葉区の選挙管理委員会からお借りしました

【防災教育 HUG体験】



10月8日に、防災教育としてHUG体験を行いました。各クラスで班を作り、避難所の運営をゲーム形式で学びました。

午前11時に大地震が発生し、谷本中学校の体育館に避難所が開設され、様々な人が避難してくるという設定で、カードに避難者の情報や避難所の状況が書かれていて、それに応じた対応を班で協力して考えます。

各クラス・各班とも、楽しみながら協力して学ぶことができました。これからも避難訓練や防災教育を通して、防災への意識を高めていきたいと思います。



【合唱コンクールに向けて】



10月28日の合唱コンクールに向けて、どのクラスも熱心に練習しています。14日から朝合唱がスタートし、いちだんと熱が入ってきました。

クラスでの練習に加えて、学年練習としてそれぞれの学年でまとまって練習したり、縦割り交流会として学年を越えた練習会を行ったりして、学校全体が合唱一色といった感じです。

また、練習の成果を確認し合う中間発表会として、学年ごとに学年発表会を行いました。さらに児童生徒交流日として、23、24日の学年発表会に近隣小学校の6年生を招待し、中学校の合唱コンクールへの取り組みを見てもらいました。



学年練習の様子（3年生）

本番は、大和市文化創造拠点シリウスのメインホールで行います。どのクラスも、練習の成果を出し切れるよう、がんばってほしいと思います。

各学年の学年合唱曲と、各クラスの合唱曲と紹介は、次の通りです。

学年合唱曲（１年） 夢の世界を

1年1組 大切なもの

私たちが歌う「大切なもの」は歌詞の意味とメロディーが素敵な曲です。私たちのクラス目標「一年一組の個性を生かし美しい音色を響かせよう！」を、先生を含め39人が意識して歌います。We sing well. 聞いてください。

1年2組 地球星歌～笑顔のために～

私たちはこの曲を、争いではなく、思いやりであふれる世界を願いながら、クラス全員の心をつにし、日々支えてくれるすべての人たちへの感謝を込めて、精一杯歌います。私たちの歌が皆さんの心に届きますように。

1年3組 あなたに会えて

1年3組の長所は、歌を歌うときに歌声が大きいことと、個性が多様なところ。歌を聴くときは、1年3組にしかない個性多様な歌声と、みんなで心を併せ、きれいに奏で、賞を取ろうとする姿に注目してみてください。

1年4組 旅立ちの時～Asian Dream Song～

この曲の聴きどころは、サビ前の盛り上がりです。直前で音量を抑えてから、少しずつ声を大きくしていき、迫力ある歌声をホール全体に響かせます。この曲に込められた想いを私たちらしく表現できるよう、心を込めて歌います。

1年5組 変わらないもの

この曲は、一人ひとりが出会いや思い出を大切にすること、そしてその気持ちを忘れずに生きていくことを歌っています。私たちも、この半年間で出会えた仲間や先生方への感謝の気持ちを込めて、クラスみんなで楽しく、心をつにして歌います。

1年6組 COSMOS

私たちのクラスは、本番に向けて心をそろえて練習に励んでできました。私たちは、この合唱を成功させるために歌に対して本気で取り組みました。今までの努力と頑張り、そしてそれぞれの想い、それをむだにしないために全力で歌います。

学年合唱曲（２年） My Own Road～僕が創る明日～

2年1組 花がほほえむ

学級目標である「青瞬」のように、この合唱が2年1組にとって良い思い出となるようにホール中に響かせます。私たちの「花がほほえむ」の合唱で、みなさんの「やさしさ」や「強さ」の正解が見つかりますように。

2年2組 あなたへ

この歌詞には、「困難に立ち向かい前向きに進んでほしい」という感謝と応援の気持ちが込められています。私たちの歌声には、たくさんの壁を乗り越えて深まった、2組だけの絆が詰まっています。私たちの心をつにしたハーモニーをお聴きください。

2年3組 輝くために

この曲は、偶然にも学級目標「イルミネーション～輝け！36の光～」とぴったり重なっていました。歌詞に込められた「自分を信じて光へと進み続ける」という思いを伝えるよう練習しました。36人一人ひとりが、この合唱コンクールで輝けますように。

2年4組 虹

この歌には、「別れは出会いの始まり」というメッセージが込められています。中学校生活も半分終わり、みんなで何かをつくり上げることを様々な場面で経験しました。本番は経験したことを生かし、4組にしか出せない虹色の歌声が響くように歌います。

2年5組 ほらね、

この曲は東日本大震災の後、歌で日本をつなげようという思いでつくられた曲です。学級目標「百花繚乱」のように個性あふれる歌声の花をホール中に咲かせます。私たちの歌声が温かく包みこみ、みなさんの背中を押せる、そんな時間になりますように。

2年6組 心の瞳

私たちは、当初から「全校生徒、保護者の皆さんの心に響く合唱をつくり上げる」を目標に練習に取り組んできました。まさにみなさんの心に響く合唱になったと言えます。皆さんの心を震わせる私たちの合唱を、あなたの「心の瞳」で感じてください。

2年7組 花は咲く

私たちは、「花は咲く」という歌を通して、「仲間とともに前に進む力」を届けたいと思います。私たちはこの歌に勇気をもらい、支え合ってここまで来ました。聴いてくださる皆さんに、少しでも明るく温かい気持ちや希望を届けられたらうれしいです。

学年合唱曲（3年） 大地讃頌

3年1組 青い鳥

「青い鳥」には、「本当の幸せは、遠いところではなく、身近なところにある」というメッセージが込められています。この歌を通して、皆さんの周りにある小さな幸せや、身近にある大切な存在のことを思い出してほしいです。私たちも大切なものに向けて心を込めて歌いますので、歌詞の意味などに注目してお聴きください。

3年2組 言葉にすれば

私たちが歌う「言葉にすれば」は、答えを求め続けることの大切さについて歌われています。譜面に書いてある答えをなぞるだけでなく、3年2組全員で考えた答えを披露できればと思っています。いつも明るいけれど練習になると真面目で、でもみんなで歌うときは明るく楽しい、そんな2組の歌をぜひお聴きください。

3年3組 群青

私たち3組が歌う「群青」は、東日本大震災の際に当時の中学生たちによってつくられた曲です。この曲は絆や希望をテーマにした力強い歌として知られています。この曲に込められたメッセージを次の世代に伝え、歌い継いでいくと同じように、私たちも群青色に染まれるよう素敵な合唱にします。

3年4組 正解

私たちが歌う「正解」の歌詞には、「答えがある問いばかりを教わってきたけれど、自分たちの正解を探しに行こう」という思いが込められています。私たちは、目標である「パーフェクト・プラクティス・アンド・ポジティブ」を意識してがんばってきました。指揮、伴奏、そして息の合った歌声に注目してお聴きください。

3年5組 朝

「朝」という曲は、生命が生まれてから、人類が誕生し、人として生まれるまでの歴史を夜の間の夢のように例え、生きること、生命は昔からつながってきていることを考えさせる曲です。このステージで発表するに至るまでに、いったいどれほどの生命がかかわってきたのでしょうか。3年5組全員が心を込めて歌います。

3年6組 友～旅立ちの時～

中学時代に終止符が打たれる時がだんだんと近づき、早いものであと5ヶ月。その後、別々の道を歩んでいきます。その別れを切なく惜しむように、しかし将来の希望を見据えながら、仲間を信じて大切にこの「友」という曲を歌います。歌詞の力強さや6組ならではの団結力、ブレンド感に注目してお聴きください。

11月の主な予定

5日（水）	第2回進路説明会（3年生） ブロック学校運営協議会（会場：さつきが丘小） 放課後学習会
7日（金）	放課後学習会
10日（月）～12日（水）	後期中間試験 部活動等試験休み：5日（水）～11日（火）
15日（土）	吹奏楽部 小中交流 演奏会（会場：さつきが丘小）
18日（火）	個別支援級 第3回交流会（会場：あかね台中） 専門委員会
19日（水）	学校保健委員会
20日（木）	中央委員会
22日（土）	吹奏楽部 小中交流 演奏会（会場：つつじが丘小）
27日（木）	職業講話（1年生）

◎学校カウンセラー来校日	6日（木）、10日（月）、13日（木）、 17日（月）、20日（木）、27日（木）
--------------	--